

自然学習講座

テーマ：水元公園ナイトウォッチング
 日時：令和5年8月5日、12日(各土)
 各回18時30分から20時30分まで(雨天決行)
 講師：水元かわせみの里専門員
 参加費：無料 定員：各回30人
 申込開始：令和5年6月25日(日)
 集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム
 受付：令和5年7月15日(土)まではがき(当日消印有効)で受付(抽選)



セミの幼虫

セミの幼虫やコウモリ、カエルなどに活動する生きものを観察します。

※小学生以下の方は、保護者の方と一緒に参加ください。
 ※野外での観察もありますので、動きやすく、濡れてもよい服装と靴でお越しください。
 ※お持ちであれば、懐中電灯、虫よけ対策(蚊取り線香は不可)をお持ちください。

イベント・ガイドウォーク

小学生の夏休み自由研究シリーズ 8月10、17日(各木)
 ①9時30分~11時30分、
 ②13時~15時

楽しみながら自由研究の進め方について学びます。8月10日は手羽先の骨格標本作りが、8月17日は水をきれいにするしくみを学べます。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
 2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス

水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)

金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)

バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。

金町駅南口→水元公園→金町駅南口

水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



Twitter



水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和5年 6月20日
 (通算第195号)

水元公園が都内唯一の自生地

水元小合溜の生きもの：185

アサザ

ミツガシワ科アサザ属

花の直径 3~5cm

花期 5~10月

アサザは、かつてはどこにもある水草でしたが、現在はその数を大きく減らしており、環境省が「準絶滅危惧種」に指定しています。水元公園の南東にある「ごんばち池」は都内唯一の自生地とされています。水元かわせみの里でも、水元由来のアサザを移植し、水辺のふれあいルーム前の水辺で保全しています。



一目限りの花

アサザは開花期間中、何度も花を咲かせますが、花は一目でしぼみます。花弁は薄く、縁がフリル状になり、とても繊細な雰囲気をもちます。毎年、この時期にきれいな黄色い花を咲かせるため、ぜひ見に来てください。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



6/11 **ジュンサイ** 水元のふれあいルーム入口にある水草コンテナの水面から花を咲かせていた。



6/11 **ガクアジサイ** 水元かわせみの里 駐輪場脇で咲いていた。周りの大きな花(装飾花)を額縁に見立てたのが名の由来。



6/14 **ハナソツクパネウツギ** 花を枝先に多くつけるので目立つ。花期は6月から10月と長く花を楽しめる。



6/7 **カワセミ(幼鳥)** 水元かわせみの里とは別の場所で今年に巣立ったと思われる幼鳥。



6/8 **ムクドリ(幼鳥)** 群れの中に幼鳥が見られた。しばらくは親鳥と共に行動し成長していく。



6/10 **カラスアゲハのサナギ** 野草園のクサギの葉で見られた。現在は水元のふれあいルームで飼育中。



6/14 **カノコガ** 翅の鹿の子(かのこ)状の白紋が名の由来。浅間神社の林縁部の葉の上で見られた。



6/14 **コシアキトンボ** 腰が白く、空いているように見えることから「コシアキ」トンボと名付けられた。



6/13 **ハクレン** 台風の翌日、ふれあいルーム前の水辺でジャンプしていた。増水に伴い、産卵のためにやってきたようだ。

専門員コラム 「大雨を待ち望んでいた生きもの」

6月3日(土)、水元のふれあいルーム前の水辺から、水面を叩く大きな音が聞こえてきました。様子を見に行くと、水辺近くの岩場にハクレン(9)という魚が打ち上がっていました。ハクレンは中国原産の魚ですが、かつて食糧確保の為に水元小合溜に連れてこられ、その後定着しているようです。

しかし、普段は見られないハクレンが、なぜこの日は大きな音と共に姿を現したのでしょうか? ハクレンは6~7月頃、河川の増水に合わせ産卵する生態を持ちますが、実はこの日、前日の台風の影響で小合溜の水位が大幅に上昇しており、偶然にも産卵条件を満たしていたようです。そして、産卵の際は水面から何度も跳ね上がるため、勢いあまって岩場に乗り上げたのが、今回のハクレンのようです。

台風は、私たち人間からすれば、時に洪水や土砂崩れを招くようなマイナスイメージのあるものにも思えます。しかし、逆にそうした自然現象を契機に繁殖する生きものがいるところに、想像を超えた、自然と生きものの繋がりの深さを感じます。(小林)



● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

ボランティア活動報告

環境・緑化フェアに、水元かわせみの里として出展しました！

6月11日に、葛飾区主催のイベント「環境・緑化フェア」が開催されました。ボランティア主体で運営を行い、水元公園で見られる生きものや、カワセミの保全など、水元かわせみの里の取り組みがわかるパネルなどを展示し、来場者にご案内しました。



会場設営の様子。今年は、水元かわせみの里周りで発見されたアオダイショウを展示しました。



水元公園で見られる鳥類や哺乳類の剥製を展示しました。



例年人気の高いカワセミ魚釣りゲームも、来場者が自由に遊べるゲームとして展示しました。



カワセミ魚釣りゲームを通して、楽しみながらカワセミの食べ物について学んでもらいました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方個々人が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加していただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業、ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講、葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とりキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
 ※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 6月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

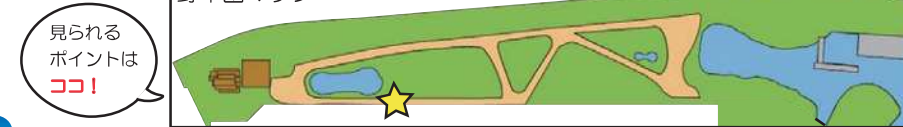
6月の見頃

ヤマモモ

大気汚染に強く、やせ地でも育つため、庭木や公園木などによく利用されています。結実期は6~7月で、野草園では今、赤い大きな果実が見頃を迎えています。野草園に生えているヤマモモの実是非常に大きく、また数も多く、たわわに実った実が次々と地面に落ちては、様々な生きもののお食べものとなります。



野草園マップ



見られるポイントはココ！